

第14次中期経営計画

2020年3月期～2022年3月期

株式会社 T B K



TBKグループは、社会にとって必要とされる企業であり続け、顧客満足と価値創造でアジアのリーディングカンパニーを目指します。

**ヒトづくり
ビジョン**

夢を抱き、柔軟な発想とチャレンジ精神に富んだ、熱気あふれるヒトをつくるグローバル企業となる。

**モノづくり
ビジョン**

顧客目線での生産活動、技術開発と提案型営業ができるグローバル企業となる。

**将来
ビジョン**

社会に必要とされ、存続を期待されるグローバル企業となる。

中長期ビジョン（5年後のありたい姿）

業績目標

**連結売上高
700億円～800億円**

**連結営業利益率
7%～8%**

グローバル企業への更なる進化を求め ～TBK Step up Plan～

1. 売上高の拡大

国内外の積極的な拡販による売上高の拡大

- (1) 国内新商品・新分野における拡販の推進
- (2) アジアの成長に合わせた海外売上高の拡大

2. グローバル競争力の強化

顧客期待品質の確保と提案型企业への深化

- (1) グローバル品質管理体制の刷新
- (2) 新興国と戦える総原価の実現
- (3) スピード重視の開発・技術態勢と提案型営業の強化

3. グローバル人材の育成

世界で戦える人材の育成

- (1) 現場力アップに向けた教育の推進
- (2) 国内外におけるグローバル人材の育成

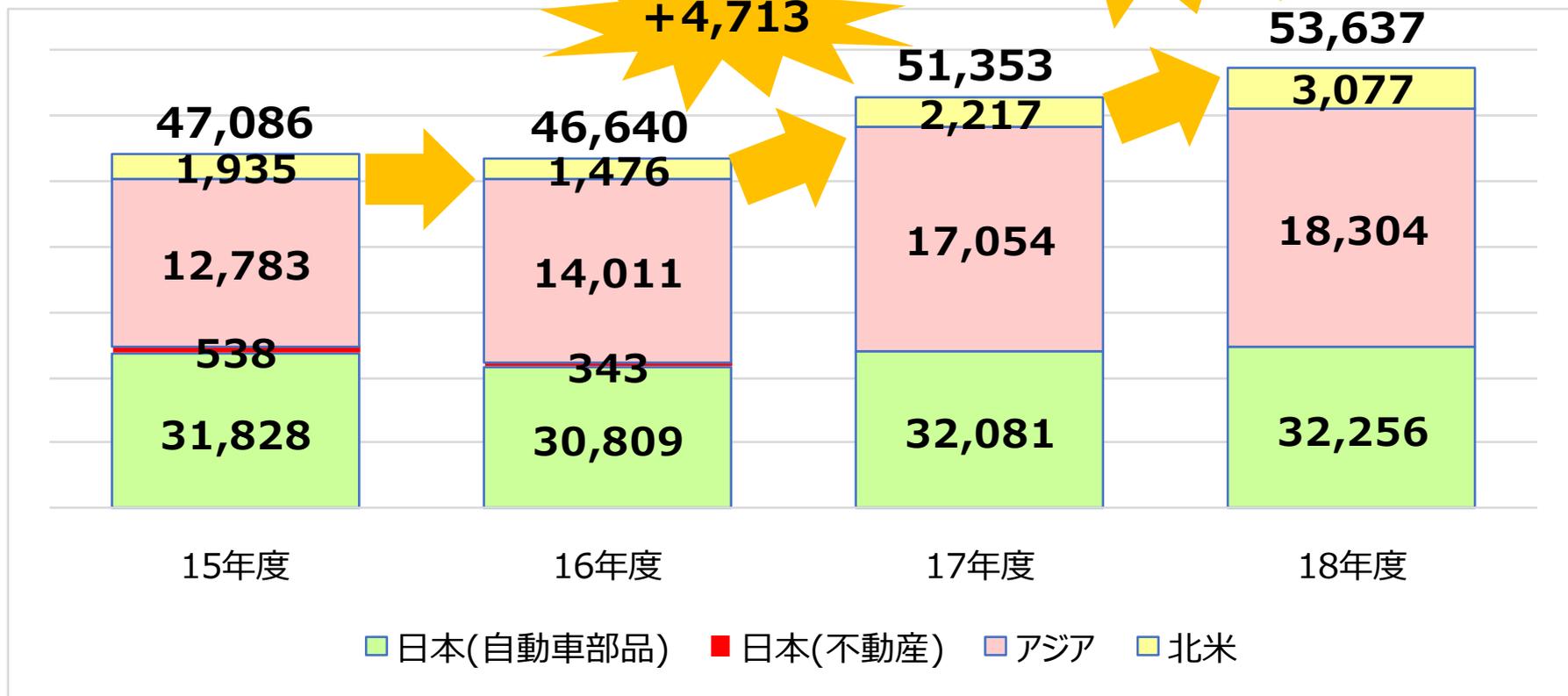
4. 企業の信頼性の確立

リーディングカンパニーにふさわしい企業基盤の構築

- (1) ガバナンス・内部監査体制の強化
- (2) 安全と環境を重視した企業運営

連結セグメント売上高

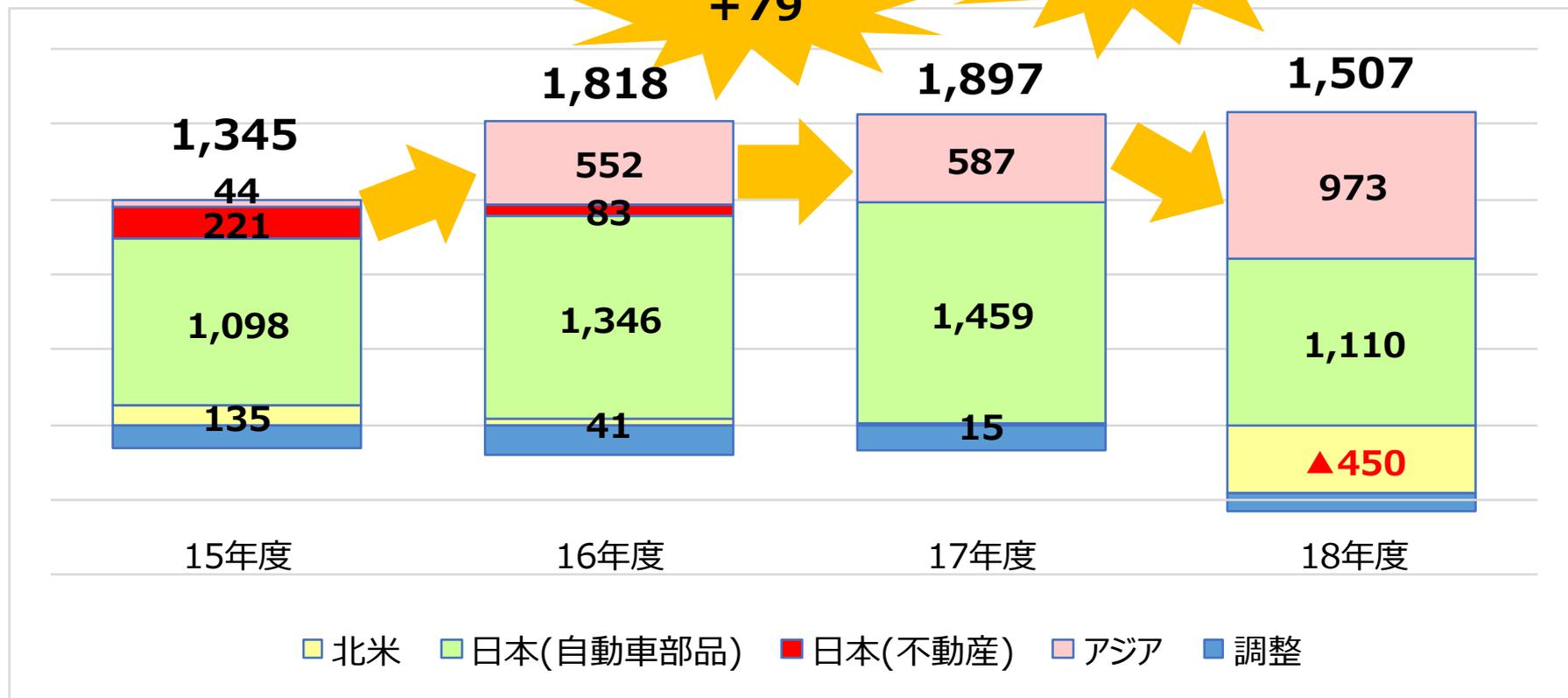
単位：百万円



売上高は堅調に推移。不動産事業については売却を実行。
それ以外の全てのセグメントで売上高増加。
前期中期経営計画の方針である売上高の拡大については達成。

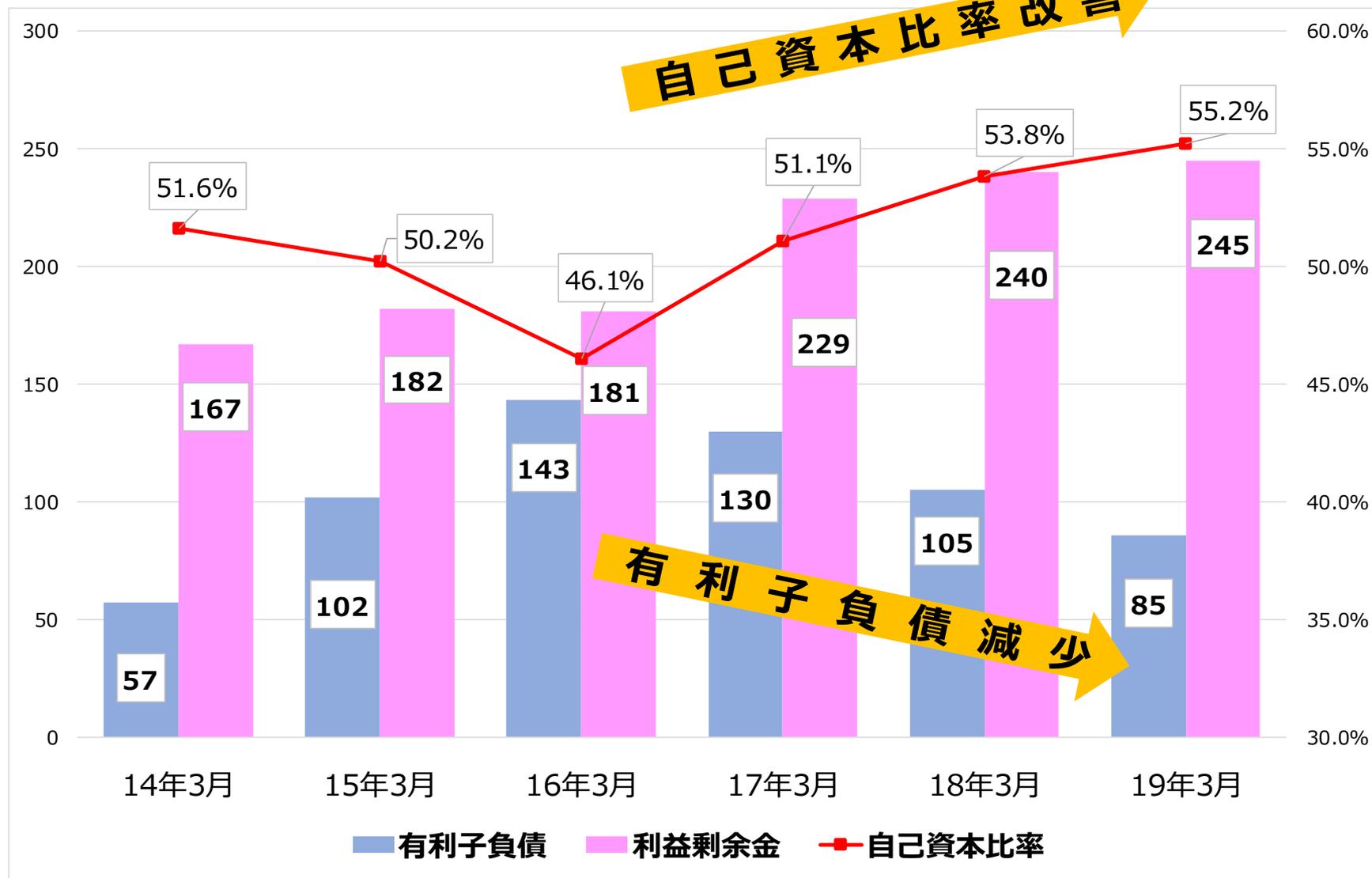
連結セグメント営業利益

単位：百万円



一方、営業利益は減少。北米事業の損益悪化、日本(自動車部品事業)の損益悪化。売上高の拡大となりながらも利益貢献ならず。次期中計では収益力を意識した対策が必要。

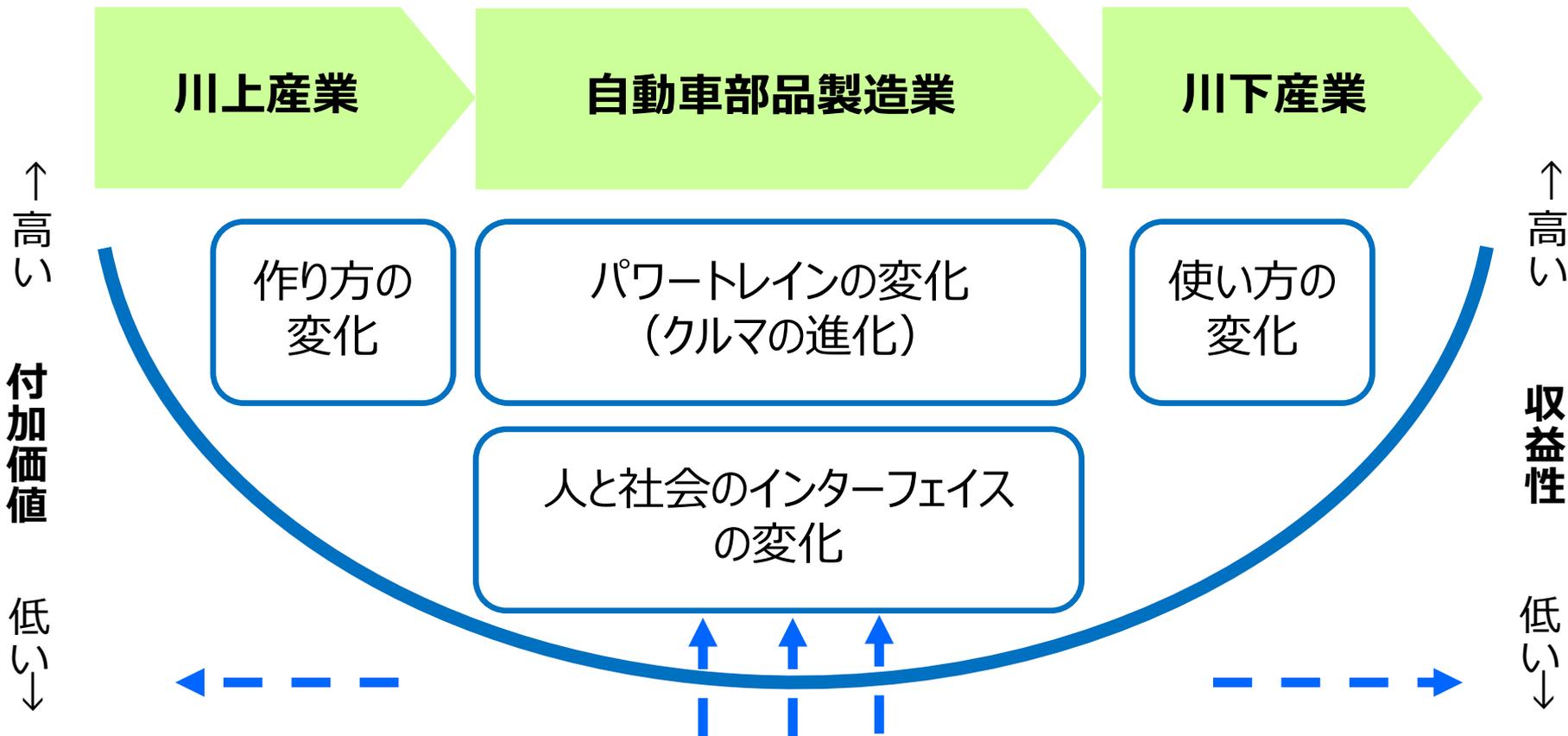
連結財務状況推移





14次中期経営計画に向けたアプローチ

弊社を取り巻く環境は大きな変化の中にあります。



付加価値の高い・収益力の高い製品の創出を目指します。



TBK Jump Up Plan

グローバル企業への更なる進化を求め

～既存事業の収益性回復と次世代への取組み～

連結売上高
600～650億円

連結営業利益率
5～7%

ROE
7～9%

既存事業の収益回復

次世代への取組み

目標を達成する為の4大方針

①収益力の強化

②先端技術への対応
並びに開発力の強化

③収益ソースの拡大

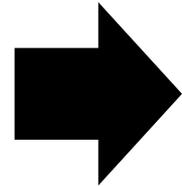
④経営インフラの整備
(ヒト・環境・ガバナンス)

方針①収益力の強化

品質活動こそ企業存続の基盤であることを再認識。

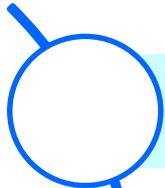
従来の考え方

品質不具合を
「減らす取り組み」

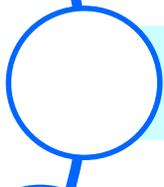


今中計の考え方

品質不具合を
「ゼロにする取り組み」



工程内保証度の向上



市場補償費の削減活動



グローバル品質体制の確立

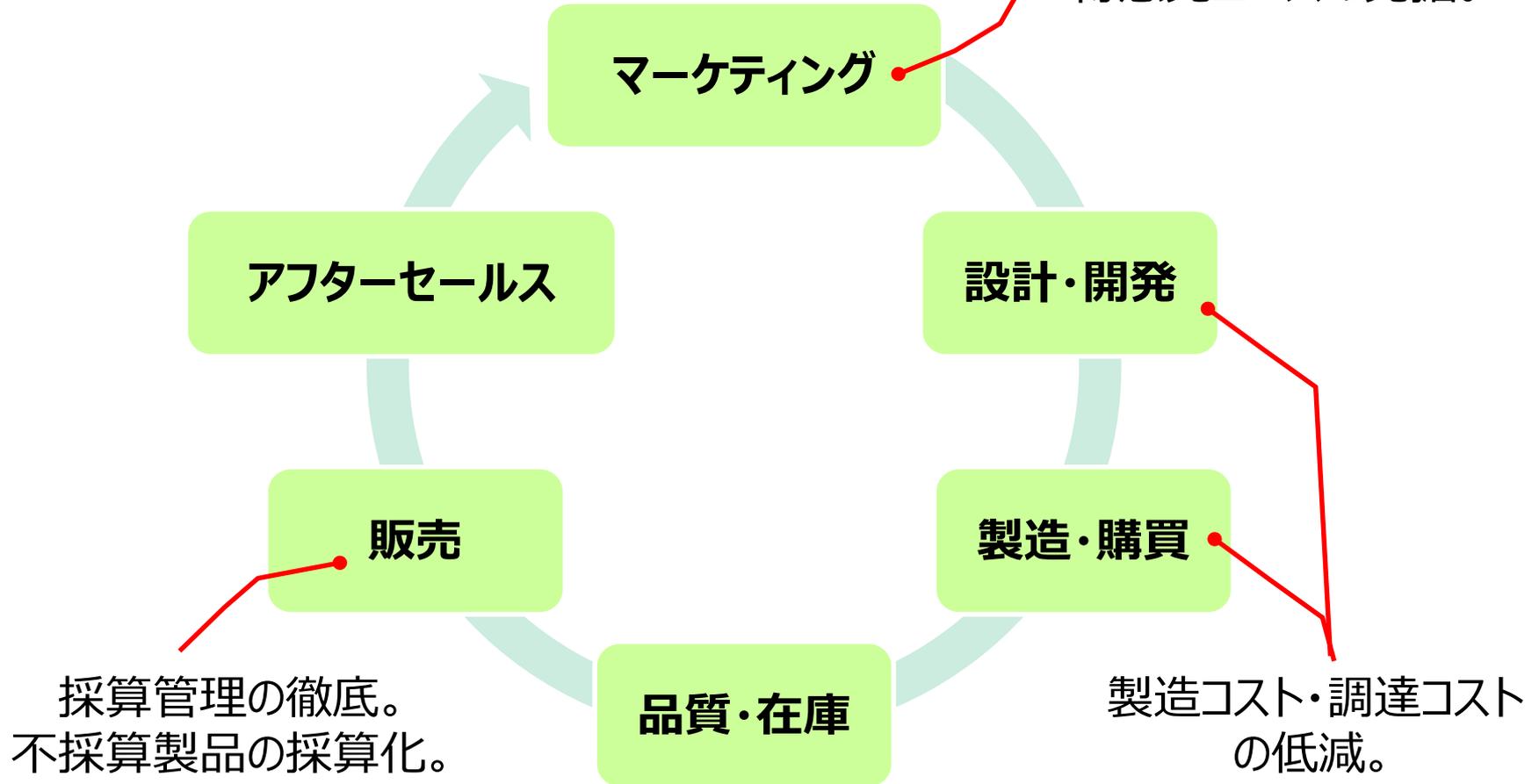
「安全で、信頼性の高い製品をつくり、お客様に提供する」

当社の品質基本理念に立ち返り、企業活動を行って参ります。

コア事業の見直し

商品企画からアフターセールスまでの業務の再構築

マーケティング機能の新設。
得意先ニーズの発掘。



海外事業の収益化

北米事業の立て直し



中国事業の拡大

タイ事業の積極的な拡大

インド事業の黒字化定着

北米事業	早期の収益改善
タイ事業	新規事業を含む積極的な拡大
インド事業	売上増加により黒字化の定着
中国事業	地場企業への積極的な拡販

高付加価値の創出を目指して

高付加価値
の定義

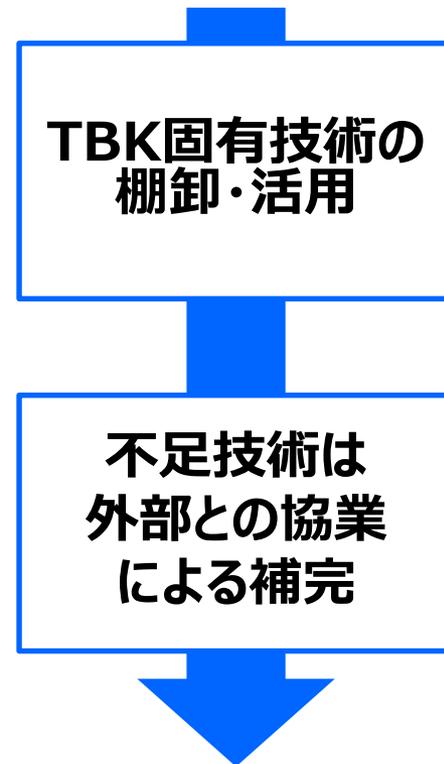
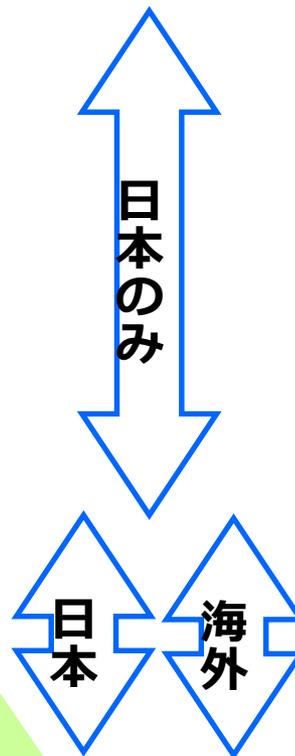
最先端の技術

モノを安く作る技術

現有技術の適合技術

実現させる為の体制

実現させる為の手法



付加価値の高い製品を開発する為に、一部の適合開発技術を海外拠点への移管を検討中。
高付加価値製品開発に経営資源の集中投入。

新規事業参入：

工作機械製造業 ダクティル鋳鉄製造業

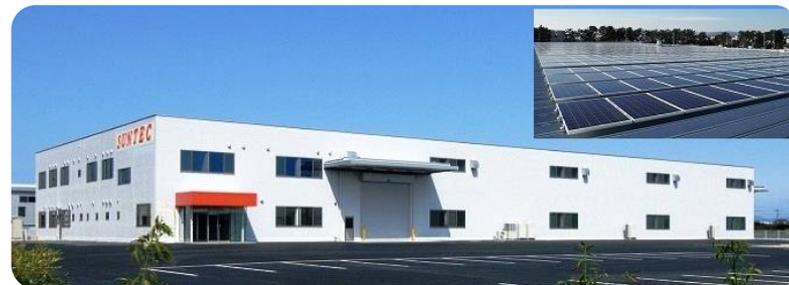
新規連結子会社の活用による新規事業への参入。当グループへのシナジー効果も見込まれ、本業の発展への寄与を目指します。

技術援助契約：

SANGSIN BRAKE Hindustan Composites Limited

ADB技術供与、ライニング技術供与により
新商品・新市場での事業展開を目指します。

(株)サンテック



木村可鍛(株)



■ 真のグローバル企業を目指します。

グローバルマネジメント

海外を含む各子会社の情報を横串で把握し、
どこで何が起きているか、今後何か起こりそうなのかを認識し、
変化に対応できる体制の検討。

人材育成

現場・現物主義に基づいた教育の推進
グローバル人材育成プログラムの推進

■ コーポレートガバナンス強化

資本コストを意識した経営
コンプライアンス体制強化



本資料ご説明にあたっての注意事項

- **本資料に記載されている、将来の業績に関する計画、見通し、戦略などは現在入手可能な情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。**
- **実際の業績は、様々な重要な要素により、大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。**